

貴重図書展示「絵で見る古典」

期間：2023年7月18日（火）～9月29日（金）
場所：中百舌鳥図書館1階貴重図書展示ケース

道成寺縁起絵巻 写 二巻



道成寺所蔵本を江戸時代に入って土佐派の画家が忠実に模写したもの。模本であるが、かなりの出来栄えて、あるいは『考古画譜』が言う桑名松平家の模本であるかも知れない。

源氏物語錦絵 刊 一合
三代歌川豊国画 一筆斎刊



一巻一枚で五十四枚揃。巻名の由来となった和歌、源氏香図を付す。

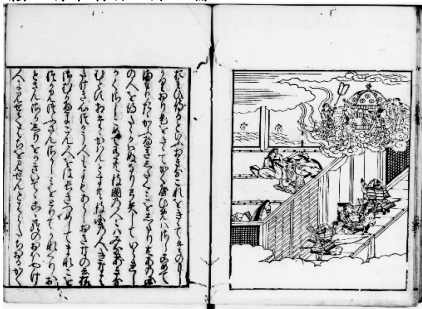
はちかづき 写 三冊



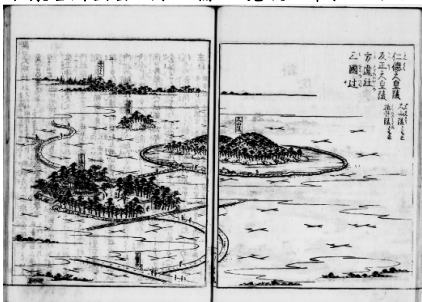
室町時代物語、奈良絵本。河内国の伝承にもとづいた継子物語。御伽草子二十三篇の一つ。版本も数多い。本書には十四枚の奈良絵が収められている。

*奈良絵本…御伽草子や舞の本などに彩色の挿絵を入れた古写本。興福寺などの絵仏師が注文や売品としてつくったものであるといわれる。(小学館「日本大百科全書」より)

絵入竹取物語 刊 二冊



和泉名所図会 刊 四冊 寛政八年(一七九六)



*名所図会…近世後期に刊行された、地名・名所・寺社などの沿革を説明した絵入りの通俗地誌。親切で兵役な文章、実景写生の挿絵を多く入れ、娯楽的な読物として大いに歓迎された。(岩波書店「日本古典文学大辞典」より)

たいごころじん すごろく
 台所唐人おどけ双六 一枚 袋つき
 川芳員画 薬地大金板 整版多色刷



せいようもじおきむなご
 西洋文字稚絵解 刊一帖

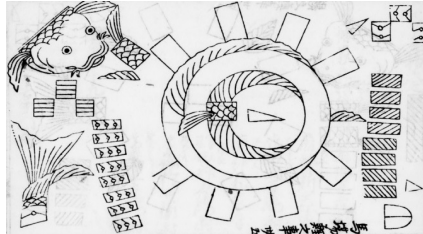


まほんことりつがい
 画本古鳥図賀比 刊一冊 文化二年(一八〇五)
 松屋耳鳥齋筆



大坂の絵師耳鳥齋(にちようさい)による絵本。「祝儀」「不祝儀」や「大胆者」「臆病者」など対立する項目を風俗画として描いたもの。

りょうりきがたひでんしょう
 料理切形秘伝抄 刊横三冊



平安時代から執り行われてきた儀式を担う庖丁流派的料理書。